

2023年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月10日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 俊介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 竹崎 周太郎 TEL 06-6343-2600
 経営企画部ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2023年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期第3四半期の連結業績（2022年3月1日～2022年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第3四半期	29,452	△5.3	3,821	△32.7	3,825	△33.3	2,389	△33.1
2022年2月期第3四半期	31,087	13.6	5,675	47.9	5,735	42.0	3,573	73.8

(注) 包括利益 2023年2月期第3四半期 2,456百万円 (△39.5%) 2022年2月期第3四半期 4,059百万円 (88.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第3四半期	140.67	—
2022年2月期第3四半期	210.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年2月期第3四半期	45,283	30,791	65.1
2022年2月期	43,170	29,568	65.6

(参考) 自己資本 2023年2月期第3四半期 29,498百万円 2022年2月期 28,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2023年2月期	—	0.00	—		
2023年2月期（予想）				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	10.6	6,600	9.7	6,600	9.4	3,750	3.8	220.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年2月期3Q	17,185,650株	2022年2月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	2023年2月期3Q	201,706株	2022年2月期	201,657株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年2月期3Q	16,983,969株	2022年2月期3Q	16,983,998株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復がみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響や、ロシア・ウクライナ問題の長期化と米国を中心とする金融引き締め政策等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの主力である写真事業において、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した店舗運営を行ってまいりましたが、感染力が非常に強いオミクロン株の感染拡大（いわゆる「第6波」、「第7波」）の影響を受け、特に第7波においては、お客様の感染者数が増加したことにより、撮影件数が前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は29,452百万円（前年同期比5.3%の減少）となり、各利益につきましては、売上高が前年を下回ったことに加え、現在、強力に推し進めている成人式撮影・振袖レンタルサービス『ふりホ』の衣装投資の増加に伴う減価償却費の増加や、原材料価格及び光熱費の上昇等によって売上原価が前年同期を上回り、営業利益は3,821百万円（前年同期比32.7%の減少）、経常利益は3,825百万円（前年同期比33.3%の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,389百万円（前年同期比33.1%の減少）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、最需要期を迎えた七五三撮影及び七五三お出かけ着物レンタルの獲得に注力するとともに、成人式撮影・振袖レンタルサービス『ふりホ』のご予約獲得、前撮り撮影等に注力いたしました。

国内子ども写真館の出店状況は、移転5店舗を含み7店舗出店、6店舗退店を行い、ショッピングセンター内の区画移動を含む改装を28店舗実施いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館466店舗(直営店舗457店・フランチャイズ店舗9店)、韓国の子会社における子ども写真館2店舗を含め、468店舗となっております。

以上の結果、報告セグメントにおける写真事業の売上高は29,418百万円（前年同期比5.3%の減少）となり、セグメント利益は3,854百万円（前年同期比33.7%の減少）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、連結子会社の株式会社京都豊匠及びその子会社である上海豊匠服飾有限公司において、原材料等の仕入れ価格の高騰に伴う売上原価の上昇を極力抑えるべく、取引先との交渉や、生産効率の向上による更なるコスト低減に努めました。

以上の結果、報告セグメントにおける衣装製造卸売事業の売上高は1,299百万円（前年同期比53.5%の減少）となり、セグメント損失は14百万円（前年同期は301百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ2,113百万円増加し45,283百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の増加及び流動資産「その他」に含まれる預け金の増加等により、前連結会計年度末と比べ2,662百万円増加の25,581百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産「その他(純額)」に含まれるリース資産の減少等により、前連結会計年度末と比べ548百万円減少の19,702百万円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ890百万円増加し14,492百万円となりました。

流動負債は、流動負債「その他」に含まれる前受金の増加及び未払費用の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,479百万円増加の9,581百万円となりました。

固定負債は、固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の減少等により、前連結会計年度末と比べ589百万円減少の4,910百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,222百万円増加し30,791百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年4月12日発表の「2022年2月期 決算短信」に記載の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,165,761	17,138,520
受取手形及び売掛金	844,434	2,120,306
棚卸資産	1,607,333	3,501,690
その他	1,312,754	2,831,900
貸倒引当金	△11,351	△11,351
流動資産合計	22,918,932	25,581,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,201,638	7,004,227
その他(純額)	6,133,688	5,784,485
有形固定資産合計	13,335,327	12,788,712
無形固定資産	997,620	936,094
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,192,218	3,197,929
その他	2,951,105	3,004,452
貸倒引当金	△224,712	△224,449
投資その他の資産合計	5,918,611	5,977,931
固定資産合計	20,251,559	19,702,739
資産合計	43,170,491	45,283,804
負債の部		
流動負債		
買掛金	300,462	630,928
短期借入金	-	950,000
未払法人税等	1,484,335	429,689
賞与引当金	205,794	71,222
ポイント引当金	107,260	120,110
その他	6,004,652	7,379,977
流動負債合計	8,102,506	9,581,927
固定負債		
退職給付に係る負債	1,203,656	1,249,696
資産除去債務	1,654,160	1,648,992
その他	2,641,876	2,011,963
固定負債合計	5,499,692	4,910,652
負債合計	13,602,199	14,492,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	24,215,835	25,371,099
自己株式	△276,464	△276,578
株主資本合計	27,880,770	29,035,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266,180	273,055
為替換算調整勘定	154,772	189,729
その他の包括利益累計額合計	420,952	462,785
非支配株主持分	1,266,569	1,292,520
純資産合計	29,568,292	30,791,225
負債純資産合計	43,170,491	45,283,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)
売上高	31,087,750	29,452,009
売上原価	20,772,276	21,027,486
売上総利益	10,315,473	8,424,523
販売費及び一般管理費	4,639,714	4,602,824
営業利益	5,675,759	3,821,698
営業外収益		
受取利息	1,121	1,125
受取配当金	10,090	10,571
受取家賃	17,234	15,938
受取補償金	18,593	408
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	29,984	1,697
企業立地奨励金	-	11,002
雑収入	29,251	18,063
営業外収益合計	106,276	58,807
営業外費用		
支払利息	17,635	18,994
店舗解約損	16,012	-
為替差損	12,181	34,801
雑損失	593	1,463
営業外費用合計	46,422	55,259
経常利益	5,735,612	3,825,246
特別利益		
固定資産売却益	173	1,059
特別利益合計	173	1,059
特別損失		
固定資産売却損	236	-
固定資産廃棄損	132,748	55,358
減損損失	54,434	93,055
新型コロナウイルス感染症による損失	44,638	-
特別損失合計	232,058	148,413
税金等調整前四半期純利益	5,503,727	3,677,892
法人税、住民税及び事業税	1,973,169	1,287,665
法人税等調整額	△101,576	△24,899
法人税等合計	1,871,592	1,262,766
四半期純利益	3,632,135	2,415,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	58,309	25,975
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,573,825	2,389,150

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	3,632,135	2,415,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	381,619	6,850
為替換算調整勘定	45,818	34,957
その他の包括利益合計	427,438	41,807
四半期包括利益	4,059,573	2,456,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,001,263	2,430,983
非支配株主に係る四半期包括利益	58,309	25,950

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(追加情報)

当社グループの店舗は感染予防対策を万全にした上で営業をしておりますが、オミクロン株の感染が小学生以下のお子様にも広がったため、撮影のキャンセル数が例年と比較して増加しましたが、業績に与える影響は軽微であると仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年3月1日 至2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,038,322	49,428	31,087,750	—	31,087,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,482	2,746,195	2,770,677	△2,770,677	—
計	31,062,804	2,795,623	33,858,428	△2,770,677	31,087,750
セグメント利益	5,817,231	301,915	6,119,147	△443,387	5,675,759

(注) 1. セグメント利益の調整額△443,387千円には、固定資産の調整額等△266,935千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△176,452千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては54,434千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年3月1日 至2022年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,394,372	57,637	29,452,009	—	29,452,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,162	1,242,056	1,266,219	△1,266,219	—
計	29,418,535	1,299,694	30,718,229	△1,266,219	29,452,009
セグメント利益又は 損失(△)	3,854,936	△14,022	3,840,913	△19,214	3,821,698

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△19,214千円には、固定資産の調整額等168,837千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△188,052千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては93,055千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当該事項はありません。